

### 特別会計

保険料や使用料等、特定の収入で実施する事業の運営に必要な経費を扱う財布

会計名	H 30 年度予算額(対前年増減率%)	H 29 年度予算額
国民健康保険事業	38 億 7,558 万 3 千円 (△18.3)	47 億 4,315 万 6 千円
後期高齢者医療	4 億 9,437 万 1 千円 ( 10.0)	4 億 4,935 万 3 千円
介護保険事業	25 億 7,529 万 9 千円 ( 0.8)	25 億 5,585 万 7 千円
農業集落排水事業	6,814 万 1 千円 ( 10.4)	6,173 万円
下水道事業	13 億 8,466 万 4 千円 (△ 5.4)	14 億 6,354 万 2 千円
合計	83 億 9,805 万 8 千円 (△ 9.4)	92 億 7,363 万 8 千円

### 水道事業会計

地方公営企業法に基づき指定された事業で、独立採算制の経営方式をとっている

会計名	H 30 年度予算額(対前年増減率%)	H 29 年度予算額
収益的収入	8 億 8,545 万 9 千円 ( 4.9)	8 億 4,433 万円
収益的支出	7 億 5,039 万 5 千円 ( 3.5)	7 億 2,487 万円
資本的収入	9,169 万 3 千円 ( 86.5)	4,915 万 3 千円
資本的支出	3 億 4,741 万 4 千円 ( 1.4)	3 億 4,272 万 9 千円



### ことばの意味

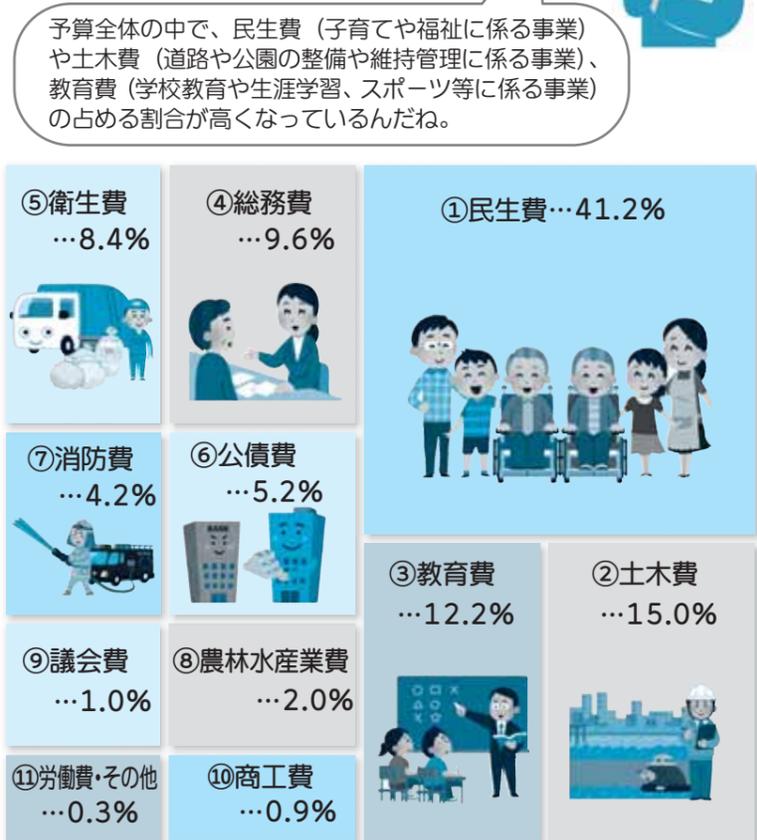
ことばの意味を説明するよ

一般会計：一般的な行政運営に必要なお金を扱う財布  
 自主財源：町税や施設の使用料、住民票の発行手数料等、町が自主的に収入することができるお金。自主財源が多いほど安定した行政運営ができるとされています  
 依存財源：国や県からの補助金等一定の基準で交付されるもので、町が独自に収入額を決められないお金です  
 町 税：町民税や固定資産税等、みなさんに納めていただいた税金です  
 繰入金：基金(町の貯金)から取り崩すお金です  
 使用料及び手数料：施設の使用料や住民票等の発行手数料です  
 分担金及び負担金：福祉事業等に対する負担金です  
 町 債：国や銀行等からの借入金です  
 地方交付税：地方公共団体の収支不足を是正するために国から交付されるお金です

29年10月3日に示された予算編成方針に基づき、平成30年度予算が成立しました。  
 一般会計の予算額は前年度と比較すると1.1%の増(+1億3,700万円)となりました。  
 引き続き厳しい財政状況ではありますが、「ハード事業」として、名鉄知多武豊駅東土地区画整理事業のほか、住民のみなさんが集える防災機能を有した公園整備のため、野菜茶業跡地の用地買収費や整備設計費を、また、避難所生活者等の通信手段を確保するため、一次開設避難所を中心にWi-Fi環境を整備します。  
 また、「ハート(心)の安全・安心」施策としては、地震による通電火災対策として、感震ブレーカー設置費補助金の新設および簡易タイプの有償配布を、また、難聴児の言語発達や学習の困難さの解消を図るため、軽度・中等度難聴児の補聴器の購入等に係る費用の一部および新生児聴覚検査費用の一部助成を実施します。  
 そのほか具体的な施策については13ページに掲載していますのでご覧ください。

## 歳出 129 億 8,500 万円

- ①民生費 53 億 4,390 万円
- ②土木費 19 億 4,591 万 2 千円
- ③教育費 15 億 8,206 万 2 千円
- ④総務費 12 億 4,350 万円
- ⑤衛生費 10 億 9,493 万 6 千円
- ⑥公債費 6 億 7,804 万 1 千円
- ⑦消防費 5 億 5,229 万円
- ⑧農林水産業費 2 億 5,426 万 2 千円
- ⑨議会費 1 億 3,134 万 1 千円
- ⑩商工費 1 億 1,608 万 5 千円
- ⑪労働費・その他 4,267 万 1 千円



## 歳入 129 億 8,500 万円



## 一般会計

※( )内の数値は、総額に対する割合(構成比)ですが、端数調整等により計算が合わない場合があります

平成30年度  
**予算**  
 ▶ 問合せ 役場総務課

# 平成30年度の主な事業を紹介します

●：新規事業 ○：継続事業



## ともに創るまち

○総合計画推進事業 656万円



現在の「第5次武豊町総合計画（平成20年度～32年度）」の計画期間終了を迎えるにあたり、「第6次武豊町総合計画」の策定を進めていきます。（平成30年度～3年間）

## 安全に暮らせるまち

●避難所 Wi-Fi 環境整備事業 746万9千円



東日本大震災では多くの無線LAN事業者が、Wi-Fiサービスを開放し、被災地を支える情報インフラとして活躍しました。日常からWi-Fiの使い方に慣れておけば、災害時に携帯電話が利用できなくなったときにも、代替手段として利用することができます。



避難生活を送る避難所（9施設）にWi-Fi環境を整備し、被災者のニーズに応じた情報収集を可能にします。

## ふれあいのあるまち

●社会体育施設指定管理者導入 6,600万円



平成30年度から3年間、総合体育館、運動公園（第2グラウンド含む）、緑地グラウンド、学校施設の開放（受付事務）の管理・運営を、NPO法人ゆめフルたけとよスポーツクラブへ委託します。

## 子どもが健やかに育つまち

○私立認定こども園整備事業 2億9,378万5千円



（仮称）北中根こども園外観パース

現北中根保育園を建て替え、民設民営による認定こども園を整備します。

（平成31年4月開園予定）

※認定こども園…幼稚園と保育園の両方の機能を備えた施設

## いきいきと暮らせるまち

●新生児聴覚検査費助成事業 113万6千円

●軽度・中等度難聴児補聴器購入費等助成事業

14万8千円



※補助対象などの詳細は  
新生児 → 健康課へ  
補聴器 → 福祉課へ

新生児聴覚検査の費用の一部を助成し、疾病等の早期発見・早期療育につなげます。また、難聴児の言語発達や学習の困難さを解消するため、補聴器の購入または修理に係る費用の一部を助成します。

## 自然環境と生活環境が調和したまち

○省資源対策事業 1億2,000万円



今まで燃やされていた資源を再利用できる環境を整え、利便性の向上を図ることで、可燃ごみの減量を進めます。

## 活かに満ち誇りを持てるまち

○知多武豊駅東土地区画整理事業 4億5,416万7千円

●賑わい拠点検討事業 404万円

町の玄関口として駅周辺の利便性向上と安全に安心して暮らせるまちづくりを推進するため、名鉄知多武豊駅東地区の土地区画整理事業を進めています。また、駅東地区の将来ビジョンについて、住民参加型のワークショップによる検討を実施します。



# まちの家計簿



まちの一般会計の予算額を、1年間の家計（年収300万円）に例えてみました。

支出合計 300万円/年

食費(人件費)	57万9千円
日用品の購入(物件費)	65万6千円
家族の医療費(扶助費)	47万1千円
家や車の修理費(維持補修費)	2万4千円
家の増改築費(投資的経費)	33万1千円
子どもへの仕送り(他会計への繰出金)	43万2千円
借金の返済(公債費)	15万7千円
自治会費(補助費等)	29万6千円
株券購入費(出資金等)	1万4千円
貯金(積立金)	3万7千円
予備費	3千円

収入合計 300万円/年

給料(町税等自主財源)	198万円
親からの仕送り(国・県補助等)	75万9千円
貯金の取崩し(基金からの繰入金)	12万4千円
借入金(町債)	13万7千円

## 町債の残高等の状況

町債は、主に建設事業に対して借り入れることができる町の長期借入金です。将来にわたって住民に公平に費用負担をしていただくための借入制度です。借入の残高が増えないよう、返済と借入のバランスをとりながら、毎年様々な目的に応じた借入を行っています。

区分	平成29年度末 現在高見込額	平成30年度 起債見込額	平成30年度 元金償還見込額	平成30年度末 現在高見込額
一般会計	62億4,254万4千円	5億9,260万円	6億3,258万5千円	62億255万9千円
農業集落排水事業	1億9,422万1千円		2,368万3千円	1億7,053万8千円
下水道事業	69億2,567万2千円	2億5,820万円	6億4,245万円	65億4,142万2千円
水道事業	2億927万3千円		3,104万8千円	1億7,822万6千円
合計	135億7,171万円	8億5,080万円	13億2,976万6千円	130億9,274万5千円

## 財政調整基金 (町の貯金) 残高の状況

財政調整基金は、地方公共団体の貯金にあたります。積立や取崩しをしながら財源を調整し、計画的な財政運営を行っていくための資金になります。

区分	平成28年度末 現在高	平成29年度末 現在高(見込み)	平成30年度末 現在高(見込み)
財政調整基金	21億7,816万7千円	19億804万8千円	13億7,279万5千円

行政は町債の発行や基金の運用もしながら、まちづくりを進めているんだね。

